

# STUDENT LIFE

週刊NY生活・アメリカの学校紹介と学生ライフのページ



**親子ピクニック**  
手作りのサンバイザー

プリンストン日本語学校幼稚園部(和田幸子幼稚園部園長)は5月18日、恒例の親子ピクニックを開催した。子供たちは手作りのサンバイザーをかぶって登場。親子体操で体を動かした後、卵レースと新聞紙ゲームが行われた。卵レースでは、親子で手をつなぎ、おたまに乗せた卵を落とさないように慎重に走りながらリレー。新聞

紙ゲームでは、親子が新聞紙の上に立ち、先生とじゃんけんをして負けるたびに新聞紙を折っていくルール。徐々に小さくなる新聞紙の上で、親子でぎゅつとくっつきながら工夫して立つ姿が見られ、会場には笑い声があふれた。続いて行われた「キャンパス探検シールラリー」では、子供たちが作ったカラフルな地図を手に、小さな



「言語は親子の心のつながり。無理に教えるのではなく、寄り添いながら関係性の中で育んでいくもの」との視点を提示した。保護者会主催の同セミナーには、幼児部・初等部を中心とした保護者が参加し、バイリンガル環境で育

**NY補習校  
業校1校  
バーンズさん語る**

## 言語の家庭支援

「言語は親子の心のつながり。無理に教えるのではなく、寄り添いながら関係性の中で育んでいくもの」との視点を提示した。保護者会主催の同セミナーには、幼児部・初等部を中心とした保護者が参加し、バイリンガル環境で育

つ子どもへの日本語支援や家庭での関わり方について、実体験をもとにした学びと気づきが共有された。当日は特別ゲストとして、同校保護者の井上智香子氏が登壇。かつて自身の子供が日本語に苦手意識を持っていた実体験を共有し、「先輩や先生方に相談することで、多くの気づきがあり、とても励まされた」と語った。保護者として試行錯誤する中で、言語習得を勉強としてではなく、愛情と文化の共有と捉え直す視点が生まれたという。バーンズ氏は「子どもが親の母国語や文化を学ぶことで、深い共感と納得の場からも深い共感と納得の場から上がった。

ニューヨーク補習校業校1校(小島昇校長)は5月24日、NY州認定スクールサイコロジストであり、特別支援教育教員の資格を持つ同校教育相談員・バーンズ山静子氏によるセミナー「日本語が苦手なお子さんを親としてどうサポートしていくか」を開催した。バーンズ氏は、長年にわたり現地校や日本人学校に通う子どもたちの心理・教育的支援に携わってきた経験から、「日本語に苦手意識を持つ子どもには、まず安心できる環境を整えることが大切」と語り、「言語は親子の心のつながり。無理に教えるのではなく、寄り添いながら関係性の中で育んでいくもの」との視点を提示した。保護者会主催の同セミナーには、幼児部・初等部を中心とした保護者が参加し、バイリンガル環境で育

足で池のまわりを一生懸命歩きながらシールを集めた。ゴール地点で景品を受け取る。誇らしげに保護者に見せる微笑ましい姿も見られた。スナックタイムの後は、ぼかぼか歩き、シヤボン玉、タトウシールなどの遊びを楽しみ、青空の下で大人も子供も一緒にたくさん体を動かした。

「なぜ日本語を学ばせているのか、その理由が改めて明確になった」「親の母国語を学んでくれていることに感謝したい」といった感想が寄せられた。「他の保護者の話を聞けたことで、自分だけではないと安心できた」といった声も多く、参加者にとって学びと勇気を得る機会となった。

フィラデルフィアを中心に、日本の歌や踊りの発表や定例会を開催し、継承

## 高齢者施設を訪問 フィラデルフィアの日本クラブ



ニューヨーク補習校業校1校(小島昇校長)は5月24日、NY州認定スクールサイコロジストであり、特別支援教育教員の資格を持つ同校教育相談員・バーンズ山静子氏によるセミナー「日本語が苦手なお子さんを親としてどうサポートしていくか」を開催した。バーンズ氏は、長年にわたり現地校や日本人学校に通う子どもたちの心理・教育的支援に携わってきた経験から、「日本語に苦手意識を持つ子どもには、まず安心できる環境を整えることが大切」と語り、「言語は親子の心のつながり。無理に教えるのではなく、寄り添いながら関係性の中で育んでいくもの」との視点を提示した。保護者会主催の同セミナーには、幼児部・初等部を中心とした保護者が参加し、バイリンガル環境で育

「なぜ日本語を学ばせているのか、その理由が改めて明確になった」「親の母国語を学んでくれていることに感謝したい」といった感想が寄せられた。「他の保護者の話を聞けたことで、自分だけではないと安心できた」といった声も多く、参加者にとって学びと勇気を得る機会となった。

「なぜ日本語を学ばせているのか、その理由が改めて明確になった」「親の母国語を学んでくれていることに感謝したい」といった感想が寄せられた。「他の保護者の話を聞けたことで、自分だけではないと安心できた」といった声も多く、参加者にとって学びと勇気を得る機会となった。

「なぜ日本語を学ばせているのか、その理由が改めて明確になった」「親の母国語を学んでくれていることに感謝したい」といった感想が寄せられた。「他の保護者の話を聞けたことで、自分だけではないと安心できた」といった声も多く、参加者にとって学びと勇気を得る機会となった。

「なぜ日本語を学ばせているのか、その理由が改めて明確になった」「親の母国語を学んでくれていることに感謝したい」といった感想が寄せられた。「他の保護者の話を聞けたことで、自分だけではないと安心できた」といった声も多く、参加者にとって学びと勇気を得る機会となった。

## 米国大学進学セミナー NY補習校1校で開催

ニューヨーク補習校業校1校(小島昇校長)は5月17日、保護者会主催の「米国大学進学セミナー」を開催された。日米で20年以上の教育に携わり、「無限先生グロバル教育」を設立したライアン・フイニスイ夫妻を講師に迎え、日本語と英語でアメリカの大学進学準備について解説した。前半は「親のマインドセット」がテーマ。フイニスイ氏は、親子の価値観や信念が影響し合い、それがス

「なぜ日本語を学ばせているのか、その理由が改めて明確になった」「親の母国語を学んでくれていることに感謝したい」といった感想が寄せられた。「他の保護者の話を聞けたことで、自分だけではないと安心できた」といった声も多く、参加者にとって学びと勇気を得る機会となった。

「なぜ日本語を学ばせているのか、その理由が改めて明確になった」「親の母国語を学んでくれていることに感謝したい」といった感想が寄せられた。「他の保護者の話を聞けたことで、自分だけではないと安心できた」といった声も多く、参加者にとって学びと勇気を得る機会となった。

「なぜ日本語を学ばせているのか、その理由が改めて明確になった」「親の母国語を学んでくれていることに感謝したい」といった感想が寄せられた。「他の保護者の話を聞けたことで、自分だけではないと安心できた」といった声も多く、参加者にとって学びと勇気を得る機会となった。

「なぜ日本語を学ばせているのか、その理由が改めて明確になった」「親の母国語を学んでくれていることに感謝したい」といった感想が寄せられた。「他の保護者の話を聞けたことで、自分だけではないと安心できた」といった声も多く、参加者にとって学びと勇気を得る機会となった。

**Mみらい塾**  
ムリなく・ムダなく・楽しく!  
オンライン家庭教師  
自宅で効果的に  
日本語力を伸ばせます  
個別面談無料実施中  
詳細は [www.miray109.com](http://www.miray109.com)

**Alto サマースクール 2025**  
6月30日(月)~8月29日(金)  
全9週間  
1週間単位でお申し込み可

Alto 日本語補習校  
Alto Weekend School / Alto After School  
<https://alto-edu.com>  
@alto.weekendschool

**Z会・栄光ラーニングセンター  
夏期講習受付中**

小学2年生~高校生  
集団クラス・個別クラスが選べます  
6月30日(月)~8月29日(金)  
詳細はWebサイトへ

Z-KAI 栄光ゼミナール  
Z会・栄光ラーニングセンター  
info@ze-edu.com  
ze-edu.com

**World Seido Karate Organization**

**中村忠会長の誠道塾空手**  
人間空手始めませんか

会長 中村忠  
二代目 中村 彰

本部(マンハッタンチェルシー校): 252 West 30th St., NYC (7 Ave.と8 Ave.の間) Tel: 212-924-0511 Email: info@seido.com  
浄心本山(ウエストチェスター校): 1 Parkway Plaza, Elmsford, NY 10523 (I-87S exit 1, or I-287W exit 2) Tel: 914-909-5000 Email: honzan@seido.com

無料体験参加者募集!